

## 11. 障害児・者の余暇活動の充実を目指した音楽活動

グループ名 ミュージックラブたんたん

代表者 横尾 菜々

### 1 活動の目的

昨今、障害児・者に対する学校現場における支援が充実しつつある一方で、学校週五日制により家庭生活におけるサポート環境は、行政レベルでは整備が行き届いていない状況です。そこで、音楽を通して友達との関わりを深め、休日の余暇活動の充実を図りたいという思いから、障害児・者と関わっている多職種がメンバーとして集まり、2006年10月より本活動を開始しました。

次の3つを目的とし、様々な視点から活動を計画、実施、評価しています。

- (1) 障害児・者に対する音楽療法を主体とした活動によって、心身の解放を図るとともに、音楽を主としたグループ活動により、友達と触れ合うなかで余暇活動を豊かにする。
- (2) キャンプやイベントを充実させることで、保護者の参加を積極的に募り、保護者同士の交流の場を設ける。
- (3) 年一回楽器製作を主とした宿泊活動を行い、音への興味や楽器ができたときの達成感、充実感を味わわせ、余暇活動の広がりを促進する。

### 2 活動概要

#### (1) 定期的な活動

毎月一回、第三土曜日に活動を実施しました。今年度は荒天時などを除く、11月12日、12月17日、1月21日、2月18日、3月10日、4月21日、6月16日、9月8日、10月13日の計9回実施しました。(7・8月はサマーキャンプを行うため、未実施)

活動では、音楽を「練習して発表」するのではなく、「聴いて、感じて、楽しむ」ため、音楽活動の内容を工夫しながら計画・実践しています。具体的な内容としては、様々なジャンルの音楽に合わせて簡単なダンスや自由に身体を動かす活動、歌を歌う活動、楽器を鳴らして演奏する活動、音楽に合わせてパラシュートバルーンを動かす活動などを行いました。活動前には参加児・者や保護者から近況を伺い、活動中はそれぞれの参加児・者の表情や様子を見守りつつも、必要に応じて丁寧な言葉かけを心がけています。活動実践後は、参加児・者の様子やスタッフの対応など、次回の活動へ反省を生かせるよう必ずミーティングを実施しています。毎回の活動後の反省に加え、四か月ごとに定期的なミーティングを行い、活動の効果と反省を検証し、次年度の計画やイベントの計画を行いました。

前年度までは活動拠点である長崎市以外からのスタッフや学生の交通費の負担が大きくありましたが、この度の活動助成金を利用したことで、活動や定期的なミーティングへのスタッフやボランティアの参加者が増え、話し合いや活動の充実を図ることができました。

また、本サークルで所有する楽器の種類や数には限りがあるため、昨年度までは活動に必要な楽器や楽譜等をスタッフの勤務先より借用していましたが、この度の活動助成金を利用し、活動に用いるキーボードや楽譜、CDを購入させていただき、参加者の興味に沿った活動を充実させて、より興味や表現、活動を広げたりすることができました。

#### 〈活動の様子〉



おもいがゴロゴロ♪の曲に合わせて  
みんなでゴロゴロ・・・



キーボードのメロディに合わせて、パラシュートバルーンを揺らして楽しみました。



クリスマス会に向けて、クリスマスソング「きよしこの夜」をベルで奏でる練習です。  
赤・黄・緑の三色に分かれ、三色に塗り分けた楽譜と同じ色のところで鳴らします。

## (2) キャンプ

毎年夏休み期間に、普段の活動を拡大して、楽器製作を主とした宿泊活動を行っています。今年度は7月28・29日に長崎市布巻にある三和青少年センターで一泊二日のキャンプを行いました。

一日目の楽器製作では、木の型に絵の具で色を塗り、釣り糸やねじを使って組み立て、ウィンドチャイムを作りました。風に揺れて優しく響くチャイムの音に、参加児・者と家族、スタッフも心地よく耳を傾けていました。

毎年お楽しみの夜のコンサートでは、参加児・者が「大きなかぶ」の歌と演技、スタッフは「手をつなごう」の歌と演奏、保護者も活動の合間を縫って練習して下さった「崖の上のポニョ」のベルハーモニーの演奏、と披露する緊張感を味わったり、一緒に盛り上がりたりして楽しい時間を過ごしました。

二日目は毎月行っているたんたんの活動を行いました。「パワフルパワー」の曲に合わせて参加児・者もスタッフも保護者もみんなで踊り、笑顔があふれていました。楽器の活動では前日に作ったウィンドチャイムを鳴らしました。キャンプでは保護者も歌や活動と一緒に参加し、参加児・者も毎月の活動とはまた違った表情を見せ、楽しんでいました。作った楽器はみなさん大切に持ち帰られていました。

二日間の活動の中で、食事作りや入浴介助、様々な準備において保護者にも積極的にお手伝いをしていただきました。毎月の活動のときにはなかなか保護者同士の交流の場を作れずにいましたが、キャンプではゆっくり話をする機会を設けることができました。演奏の練習や披露でも息もぴったり合っておられました。夜には短い時間でしたが保護者とスタッフでおしゃべり会をし、さらに交流を深めることができました。

保護者とスタッフとの関係づくりが今後の本サークルの活動の充実につながっていくことを期待しています。

### 〈キャンプの様子〉



きれいな音が響きます



「大きなかぶ」の歌と劇を披露しました



丁寧に色を塗っています



お母さんたちも真剣です



キャンプのテーマソング「手と手と手と」をみんなで歌いました

### 3 収支決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	80,000 円
支 出	交通費	25,300 円
	楽譜代	10,220 円
	楽器代	29,600 円
	ミーティング時弁当代	15,730 円
	諸経費（通信費、コピー代、紙代）	2,625 円
支出合計		83,475 円